

第3回 FMくらら857放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成28年3月22日(火) 11時00分～12時00分

2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社

3. 委員出席

審議委員総数 8名

出席委員数 8名

■出席委員(敬称略)

早乙女 洋 会長(栃木市総合政策部長)

岸 英 司 副会長(栃木商工会議所事務局長代行 総務課長)

小林 勝 夫 委員(栃木市教育委員会教育部長)

茅 原 剛 委員(栃木市産業振興部長 栃木市観光協会専務理事)

寺 崎 耕 委員(栃木警察署長)

増 山 政 廣 委員(栃木市消防本部消防長)

森 川 剛 委員(栃木青年会議所理事長)

大 橋 良 久 委員(下野農業協同組合企画総務部長)

■放送事業者側出席者

高 田 光 浩 (ケーブルテレビ株式会社 代表取締役)

小 林 康 行 (執行役員 技術部部長 兼 館林局長)

大 川 進 (コンテンツ部課長)

石 田 美也子 (コンテンツ部FMチーム主任)

小 野 泰 宏 (コンテンツ部FMチーム)

4. 議 題

オリジナル番組の取扱いについて

番組の放送内容について

事業運営状況に関する報告に続き、対象番組等について、各委員より感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行した。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答した。

5. 審議内容

①オリジナル番組の取扱いについて

(事務局) 社会情勢や地元のことにふれながら個人の見解を述べるオリジナル番組の制作に関して、放送局の見解を求められた事案があった。一個人の見解を番組化することは、その個人の意見が放送局の公式見解として認識される懸念がある。

(委員) 事務局説明の通り「取り扱わない」ことを全員一致で承認。

②審議番組「週刊リフォーム倶楽部」(平成28年2月22日放送分)

(事務局) 平時はリフォームに関するスポンサー番組。この日は放送時間中に栃木市に対し爆破予告があたったため、通常放送を行いながら市民に不審物への注意を呼びかけ、安全が確認されたことを速報で伝えた。

(委員) 通常の番組の中だったからか緊張感がない印象を受けた。スポンサー番組であっても伝えるべき情報を整理しながら放送して欲しい。時間が短くてもいいので特番にできなかったのか。

(事務局) 「予告時間までもうすぐです」などと伝え、市民の不安を煽る放送にならないよう注意した。スポンサーの了解を得て放送時間をずらすことも検討すべきだったかもしれない。

(委員) 予告時間前後の放送だけを聞いていると違和感を感じるが、番組内で適宜爆破予告について触れていた。ただし皆が最初から最後まで聴いている訳ではない。繰り返し情報を流して、いつ聞いても状況が分かるような放送が望ましい。また爆破予告時間前後にFMで情報を伝えていることを事前周知することも必要だったと思う。

③審議番組「特別番組 栃木市総合防災訓練」(平成28年3月6日放送)

(委員) 放送当日にリアルタイムで聴いていたが臨場感や緊迫感が伝わってきた。スタジオだけでなく現場からの生中継も非常に良いと思う。

(事務局) 今後もイベント会場や地元の商業施設などからの生中継を行い、市民に放送局を知っていただく機会にしたい。

(委員) 災害の現場にスタッフを派遣することもあるのか？災害の現場が分かるような放送もして欲しい。

(事務局) 災害発生から時間の経過とともに必要な情報は違ってくる。発生当初はスタジオから避難を呼びかけるなどしていくが、現場からのレポートが必要であると判断し且つスタッフの安全が確保さ

れる状況であれば、現場に派遣し、住民への確な災害情報を発信していく。

(委員) 夜間の災害の場合はどのように対応するのか？

(事務局) 通常、夜間は音楽番組を放送しているが有事は災害情報を伝える特別番組に切り替えるなどの放送体制を組んでいく。

(委員) 市民が地域の災害情報などを発信できる有用なツールになっていくと思うので頑張ってもらいたい。

(委員) 番組自体は良かったが放送を聴いたことのない人をいかに取り込んでいくかが大切であり、ラジオだけでなくアプリで聴いてもらうことも有効な手段だ。一つの指標としてどれだけアプリのダウンロード数が増えたか注視していくことも必要。

④審議番組「特別番組 3.11 防災について考える」(平成28年3月11日放送)

(委員) 東日本大震災の日は引き続きこのような特集を組んでいただきたい。定期的に防災を呼びかける放送は行っているか？

(事務局) 定期放送枠としては現状はない。参考にさせていただきたい。

(委員) 防災に関する情報だけでなく、防犯などの警察情報も定期的にFMで情報を流すことも必要かもしれない。

(事務局) 市民に対する注意喚起になる情報の提供について今後ご相談させて頂きたい。地元警察署から生活安全や交通安全などに関わるローカルな情報を発信していただくことも有用。

6. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

FMくらら857ホームページに掲載(平成28年4月掲載)